

事業評価書

補助事業名	交通施設：道路照明灯設置				
補助事業者名	瑞穂町長				
実施場所	瑞穂町南平一丁目、大字箱根ヶ崎、大字石畑、大字武蔵、大字殿ヶ谷地区				
補助事業の成果の目標	<p>瑞穂町内の多くの道路照明灯は、老朽化による道路照明灯内部の劣化により、照度も落ち、夜間の交通安全に支障を来している。</p> <p>平成29年度から令和7年度までの9年間で、瑞穂町内全ての道路照明灯約1,800基を、順次、LED道路照明灯に更新していき、瑞穂町内の交通の安全と円滑化を図る。</p>				
補助事業の内容	道路照明灯設置 令和6年度実施分 205基（既存照明灯のLED化205基）				
補助事業の始期及び終期	平成29年度 — 令和7年度				
事業費及び交付金額		令和5年度 以前	6年度	7年度以降 予定	計
	事業費	円 275,869,400	円 37,538,000 (37,708,000)	円 51,810,000	円 365,217,400
	交付金額	円 244,273,000	円 36,000,000	円 46,628,000	円 326,901,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 事業を実施した地区の町内会長に整備前後の状況を聞き取った結果、LED道路照明灯の設置により道路が明るくなった、車や歩行者にとって安全な道路になったという意見をいただき、交通の安全と円滑化が図れたことを確認できた。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] ・工事期間中、工事看板に防衛省交付金事業である旨を記載 ・工事完了後、防衛省交付金事業である旨の標示シートを設置 ・町の広報紙（5月号）及びホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：町立瑞穂第二中学校テニスコート防球ネット等改修工事				
補助事業者名	瑞穂町長				
実施場所	瑞穂町大字箱根ケ崎 1 1 7 2 番地				
補助事業の成果の目標	町立瑞穂第二中学校のテニスコート場は、昭和56年度に建設され、昭和63年度及び平成15年に改修が行われた。授業及び部活動を中心に利用しているが、改修工事から15年以上が経過し、支柱の傾き及び防球ネットの欠損や上部剥がれがあり修繕する必要があるが生じている。 適切な改修を行い、安全で安心な学校施設及び教育活動の向上を目標とする。				
補助事業の内容	テニスコートの防球ネット張替え、コート整備等				
補助事業の始期及び終期	令和6年度				
事業費及び交付金額		令和5年度	令和6年度	令和7年度	計
	事業費	円 0	円 3,190,000	円 0	円 3,190,000
	交付金額	円 0	円 3,190,000	円 0	円 3,190,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>女子テニス部及び顧問、教員にアンケート調査を実施したところ、「ネットが固定され、ボールが隣地に行かなくなった」という声が多数聞かれたことから、部活動の充実や学校施設をより安全で安心なものにすることができたと評価する。</p> <p>また他にも「ラインテープがきれいになり見やすくなった」、「雑草がなくなり練習がしやすくなった」等の意見を頂き「工事前に比べて満足・やや満足」が70%と高い評価を得ていることから、教育を行う場としてよりよい環境にすることができたと評価する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>令和7年2月頃に町公式ホームページ及び教育の広報紙に、調整交付金により事業を実施したことを掲載。 テニスコートの出入口に交付金事業である旨を掲示にて明記。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	社会福祉施設：多世代交流センター備品購入				
補助事業者名	瑞穂町長				
実施場所	瑞穂町大字殿ヶ谷1106番地				
補助事業の成果の目標	<p>平成5年に建設した、瑞穂町高齢者福祉センターは建築から約30年が経過しており、設備の老朽化が著しく、令和5年度から施設及び設備の老朽改修工事を実施し、令和7年度に瑞穂町多世代交流センターとしてリニューアルオープンする。</p> <p>改修後の開館に向け、備品及び什器を購入するものである。施設に合った利用しやすいデザイン及びサイズ、安全性や環境にも配慮したものを購入、設置することで、施設環境を整備し、多くの世代の方々にとって快適な利用環境の整備を目指す。</p>				
補助事業の内容	椅子や机などの備品の購入				
補助事業の始期及び終期	令和6年度				
事業費及び交付金額		令和5年度以前	令和6年度	令和7年度以降	計
	事業費	円	21,759,000	円	円
	交付金額	円	20,000,000	円	20,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <p>多世代交流センターとして運営及び事業展開するに当たって、必要な備品を適切に整備することができていると評価する。また、施設利用者にアンケート調査を実施したところ、「①このセンターが、だれもが利用しやすい良い施設だと思いますか」という設問に対し「そう思う」「ややそう思う」という意見の合計は94%でした。「②このセンターのテーブルやいすなどの備品や設備は良いと思いますか」という設問に対し「満足」「やや満足」という意見の合計は94%でした。「③このセンターの改修事業全体の満足度はいかがですか」という設問に対し「満足」「やや満足」という意見の合計は98%でした。このことから本事業について高い評価を受けており、良好な備品整備ができたと評価する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町のホームページ及び広報紙に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、本事業を実施した旨を掲載</li> <li>・施設外壁に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、本事業を実施した旨を掲示</li> </ul>				
事業の改善措置及び今後の対応	本事業で整備した備品の適切な維持管理に努めていく。				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事 業 評 価 書

補助事業名	社会福祉施設：瑞穂町保健センター施設改修工事				
補助事業者名	瑞穂町長				
実施場所	瑞穂町大字石畑1970番地（瑞穂町保健センター）				
補助事業の成果の目標	<p>瑞穂町保健センターは、平成7年度に建築し、28年が経過している。この数年、照明器具にちらつきや漏電等の不具合が生じ、応急的に安定器等の交換により対応してきた。しかし、近年の照明のLED化の動きから安定器の入手が困難となっており、また、水銀に関する水俣条約第5回締約国会議で、令和9年末までに一般照明用の蛍光灯の製造及び輸出入を段階的に廃止することが決定された。このことから、早期に照明LED化を実施するものである。</p> <p>また、高圧受変電設備は、施設建設後、老朽化し、事故や誤作動のおそれが指摘されているため、乳幼児健診や成人の健康診査、検診、感染症対策の拠点である保健センター機能に影響を及ぼさないよう、更新工事を行うものである。</p> <p>当工事により、乳幼児健診や成人の健康診査、検診の円滑な実施、また感染症対策の拠点である保健センター機能を維持し、住民の生命と健康を守ることを目的とする。</p>				
補助事業の内容	老朽化している照明器具及び高圧受変電設備の改修工事				
補助事業の始期及び終期	令和6年度				
事業費及び交付金額		令和5年度以前	令和6年度	令和7年度以降	計
	事業費	円	20,632,500	円	20,632,500
	交付金額	円	18,600,000	円	18,600,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <p>改修工事を実施した照明器具及び高圧受変電設備は、良好に稼働しており、また、照明器具のLED化によって照度が高くなり、良好な健診等の実施体制を確保できていることから、住民の生命と健康を守ることに寄与することができていると評価する。</p> <p>また、健診等に従事する医療従事者及び住民にアンケート調査を実施したところ、「明るくなり、健診を実施しやすくなった。」、「改修後の保健センターの印象が良くなった。」との意見が多数あり、高い評価を受けていることから、良好な健診等の実施体制を確保することができたと評価する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町のホームページ及び広報誌に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、工事を実施した旨を掲載</li> <li>・館内に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、工事を実施した旨を掲示</li> </ul>				
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き、乳幼児健診や成人の健康診査、検診の円滑な実施、また感染症対策の拠点である保健センター機能の適切な維持管理に努めていく。				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

事業評価書

補助事業名	通信に関する事業：ホームページ運用保守委託事業基金								
補助事業者名	瑞穂町長								
実施場所	瑞穂町大字箱根ヶ崎2335番地								
補助事業の成果の目標	行政情報を発信する手段のひとつである町公式ホームページ及びCMS（コンテンツマネジメントシステム）等が、災害時や障害時などでも支障なく、また、日々進化をとげているウイルス及びサイバー攻撃に対するセキュリティ対策等への対応も含め、安定的に公開し続けられるようにするため、業者による運用保守委託事業を行う。								
補助事業の内容	瑞穂町ホームページの管理運営を委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成28年度から令和7年度 基金の処分：平成29年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	1,000,000	0
	平成29年度	11,000,000	0	0	80	11,000,080	4,000,000	8,000,080	6,220,800
	平成30年度	5,000,000	0	0	440	5,000,440	4,000,000	9,000,520	6,220,800
	令和元年度	0	0	0	900	900	4,000,000	5,001,420	5,750,400
	令和2年度	3,000,000	0	0	48	3,000,048	4,000,000	4,001,468	6,336,000
	令和3年度	6,500,000	0	0	0	6,500,000	4,500,000	6,001,468	6,336,000
	令和4年度	5,000,000	0	0	0	5,000,000	4,500,000	6,501,468	6,336,000
令和5年度	5,000,000	0	0	0	5,000,000	4,500,000	7,001,468	6,336,000	
令和6年度	5,000,000	0	0	0	5,000,000	4,500,000	7,501,468	6,336,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 町民が必要とする暮らしの情報や行政情報、町の最新情報を安定して公開し続けるため、業者により運用保守委託事業を行った。令和2年度には年間を通じ一度だけ閲覧できない状況が発生したが、その後は、同様の障害が発生しないよう、保守委託業者に確認を厳重に行うよう指示することに加え、担当者においても確認を行う旨の再発防止策をとった結果、同様の事態の再発は起きていない。今後も安定的に公開し続けるよう努めていく。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 ホームページ及び広報紙内で、防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用してホームページの運営と保守を行っている旨を掲載した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								

事業評価に際しての第 三者機関の活用の有無	無
--------------------------	---

事業評価書

補助事業名	通信に関する事業：広報番組制作放送委託事業基金								
補助事業者名	瑞穂町長								
実施場所	瑞穂町大字箱根ケ崎2335番地								
補助事業の成果の目標	広報紙やホームページのほか、ケーブルテレビで広報番組を放送して、町民が情報を取得する手段を増やすことにより、町政への理解・関心を高める。また、町職員の顔を覚えていただき、町行政を身近な存在ととらえていただくことで、住民サービス向上につなげる。								
補助事業の内容	広報番組「みずほニュース」の制作及び放送を委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成28年度から令和7年度 基金の処分：平成29年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	822,000	0	0	0	822,000	0	822,000	0
	平成29年度	11,000,000	0	0	70	11,000,070	3,500,000	8,322,070	3,650,400
	平成30年度	7,000,000	0	0	449	7,000,449	4,380,000	10,942,519	4,745,520
	令和元年度	0	0	0	1,000	1,000	4,400,000	6,543,519	4,417,660
	令和2年度	3,100,000	0	0	297	3,100,297	4,400,000	5,243,816	4,833,400
	令和3年度	5,000,000	0	0	0	5,000,000	4,800,000	5,443,816	4,834,000
	令和4年度	6,000,000	0	0	0	6,000,000	4,800,000	6,643,816	4,834,000
令和5年度	6,000,000	0	0	0	6,000,000	4,800,000	7,843,816	4,834,000	
令和6年度	6,000,000	0	0	0	6,000,000	4,830,000	9,013,816	4,834,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 平成29年6月29日から、瑞穂ケーブルテレビで広報番組「みずほニュース」の放送を開始し、令和6年度末までに全20番組を制作した。番組は、2週間毎に内容を更新し毎日放送を行い、これまでの活字による媒体ではなく、映像と音声によって町の取組をPRすることができた。また、町民に職員に対する親近感を感じていただくように、数多くの職員が出演するように番組構成を考え、住民サービス向上につなげた。さらに、放送内容について、緊急性があるものについては直前差し替えるなど、住民に必要な情報を必要なタイミングで放送するよう対応した。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出時には、交代制在宅勤務となったため、通常放送ではなく、季節に合った内容の代替番組を放送した。 放送が終了したものは、町公式ユーチューブに掲載することで、インターネットに接続可能なパソコンやタブレット、スマートフォンなどを通し、視聴エリア外にも広く発信できた。なお、第1回から第20回までのユーチューブでの再生回数の合計は7万回を超え、昨年度放送分の総視聴回数は過去最高を記録している。また、希望者には、DVDを貸し出せるようにDVDを作成した。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 作成した広報番組では字幕により「この番組は、防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用して制作・放送している」旨を表示して、地域住民への周知を実施した。 また、毎月1回発行し、町内全戸に配布している広報紙「広報みずほ」では、令和6年8月号、12月号及び令和7年2月号に、広報番組「みずほニュース」について、町公式ユーチューブの二次元コードなどを掲載して、地域住民への周知を実施した。 町ホームページでは、「町政情報」内にある「広報」のカテゴリーの中に、広報番組「みずほニュース」のページを設け、番組の放送内容・動画配信（バックナンバーを町公式ユーチューブで視聴する方法）、DVDの貸出しについて、防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用して制作・放送している旨を掲載して、地域住民への周知を実施した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								

事業評価に際しての第 三者機関の活用の有無	無
--------------------------	---

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：郷土資料館指定管理委託運営事業基金								
補助事業者名	瑞穂町長								
実施場所	瑞穂町大字駒形富士山316番地								
補助事業の成果の目標	<p>瑞穂町郷土資料館けやき館は、平成26年11月の開館以来、町内外から多くの来館者で賑わい、瑞穂町を代表する集客施設となっている。特に、瑞穂町の自然を紹介する「狭山丘陵の再現」やプロジェクトンマッピングによる瑞穂町の生い立ちを紹介する「地形シアター」、上空1700mから撮影された航空写真「バーズアイ」、隣接する米国空軍横田基地に関するコーナー設置等、他の資料館では見ることのできない展示もそうであるが、魅力ある企画展、各種講演会、イベントなど日々何かしらの行事を仕掛けている運営が好評であり、これらの発想は指定管理業者によるところが大きい。公の考えにとらわれなない運営状況が、当館の入館者数に反映されている。これらの運営費等に補助事業を該当させることで、安定的な運営をベースに、更なる事業仕掛けを行うことで、瑞穂町の魅力発信につなげるとともに交流人口の増加に寄与することを目的とする。</p>								
補助事業の内容	郷土資料館の管理運営を委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成28年度から令和7年度 基金の処分：平成29年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	2,500,000	0	0	0	2,500,000	0	2,500,000	0
	平成29年度	70,000,000	0	0	200	70,000,200	30,000,000	42,500,200	55,843,644
	平成30年度	70,000,000	0	0	616	70,000,616	50,000,000	62,500,816	55,139,000
	令和元年度	0	0	0	1,000	1,000	30,000,000	32,501,816	57,587,098
	令和2年度	25,500,000	0	0	1,001	25,501,001	30,000,000	28,002,817	56,395,349
	令和3年度	58,000,000	0	0	0	58,000,000	50,000,000	36,002,817	56,763,230
	令和4年度	38,000,000	0	0	0	38,000,000	50,000,000	24,002,817	58,160,537
令和5年度	38,000,000	0	0	0	38,000,000	30,000,000	32,002,817	56,771,033	
令和6年度	42,073,000	0	0	0	42,073,000	30,000,000	44,075,817	57,239,000	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]                  平成27年2月より開始した「温故知新の会」をはじめ、村山大島紬の伝統を今日に伝える「はたおり探検隊」、地域の歴史や伝承について演者が語る「囲炉裏端で語る昔話」、町の魅力を伝える「瑞穂ふるさと大学」など様々なイベントを実施し、令和5年11月には来館者が30万人に達しました。                  令和6年11月には開館10周年を迎え、更なる飛躍も期待されているところです。                  年間の来館者数は<b>33,284</b>人と前年度比<b>7.4%</b>、<b>2,297</b>人の増加となりました。                  館内に設置しているアンケート調査では、<b>862</b>名の方から回答をいただき、常設展示や展示の見やすさ、スタッフの対応などの項目で、「大変良い」「良い」という回答は全て<b>90%</b>を超えています。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]                  広報紙、ホームページ及び館内に防衛省調整交付金を活用した旨を掲示し、PRしています。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	環境衛生に関する事業：リサイクルプラザ運転業務委託運営事業基金								
補助事業者名	瑞穂町長								
実施場所	瑞穂町大字箱根ケ崎1723番地								
補助事業の成果の目標	みずほリサイクルプラザは、平成15年の開所以来、家庭から排出される一般廃棄物のうち、不燃ごみ、資源ごみ、有害ごみ及び粗大ごみの中間処理を行っている。特に循環型社会の形成を促進するため、容器包装プラスチック選別圧縮梱包施設では、日々、作業員による手作業により、品質の高いプラスチック資源を選別している。一般廃棄物の処理については、町に統括的な責任があることから、1日たりとも休止することはできない。そのため、この施設の機能を十分に発揮させるため、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、適切に安定稼働させていく。								
補助事業の内容	みずほリサイクルプラザの運営を外部委託する事業								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：平成28年度から令和7年度 基金の処分：平成29年度から令和8年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額	基金 残額	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	平成28年度	8,000,000	0	0	0	8,000,000	0	8,000,000	0
	平成29年度	170,566,000	0	0	650	170,566,650	80,000,000	98,566,650	128,016,936
	平成30年度	145,266,000	0	0	550	145,266,550	90,000,000	153,833,200	123,694,560
	令和元年度	28,000,000	0	0	1,000	28,001,000	90,000,000	91,834,200	115,665,889
	令和2年度	49,782,000	0	0	1,000	49,783,000	90,000,000	51,617,200	128,705,034
	令和3年度	132,000,000	0	0	0	132,000,000	100,000,000	83,617,200	129,267,600
	令和4年度	120,000,000	0	0	0	120,000,000	100,000,000	103,617,200	130,398,400
	令和5年度	58,464,000	0	0	0	58,464,000	80,000,000	82,081,200	130,398,400
令和6年度	252,106,000	0	0	0	252,106,000	123,401,200	210,786,000	130,398,400	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 家庭から排出される一般廃棄物のうち、不燃ごみ、資源ごみ、有害ごみ及び粗大ごみの中間処理を適切に行ってきた。搬入・搬出量を把握することで作業の効率化を図り、最終処分されるごみの減量及び資源化されるゴミの選別への取り組みに反映させた。特に循環型社会の形成を促進するため、容器包装プラスチック選別圧縮梱包施設では、日々、作業員による手作業により、品質の高いプラスチック資源が休止することなく選別することができた。また、粗大ごみの受入れについても作業員による資源分別を行い、その品質向上に努めてきた。更に、リサイクル品として使用可能なものを選別し、販売することで地域住民へと循環され、この事業の重要性を周知させてきた。よって、適切に安定稼働できたことで、この施設の機能を十分に発揮させることができた判断する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 広報紙及びホームページのほか、ごみ・資源物カレンダーやみずほリサイクルプラザのパンフレットに防衛省調整交付金を活用した旨を掲載しPRしている。また、施設見学者や視察に来られた方々へも施設の重要性についてPRした。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業：健康づくり推進事業基金								
補助事業者名	瑞穂町長								
実施場所	瑞穂町大字箱根ヶ崎1180番地								
補助事業の成果の目標	町民自ら健康づくりへの積極的な取組ができる環境づくりを推進するため、体育器具の使用及びトレーナーの指導による健康づくりを実施し、「健康で活力ある人づくり」「活気ある町づくり」を推進する。								
補助事業の内容	体育器具の使用及びトレーナーの指導による健康づくりを企画し実施する。								
補助事業の始期及び終期	基金の造成：令和2年度から令和11年度 基金の処分：令和3年度から令和12年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分額 (B)	基金 残額 (A) - (B)	継続 事業に 要した 額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	令和2年度	8,000,000	0	0	0	8,000,000	0	8,000,000	0
	令和3年度	13,471,000	0	0	0	13,471,000	8,000,000	13,471,000	11,849,328
	令和4年度	8,000,000	0	0	0	8,000,000	10,000,000	11,471,000	11,613,712
	令和5年度	8,000,000	0	0	0	8,000,000	8,000,000	11,471,000	11,347,380
令和6年度	8,000,000	0	0	0	8,000,000	8,000,000	11,471,000	13,391,665	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <p>令和6年度は、令和5年に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行され、通常通りの開館となり2年目となりました。</p> <p>年間利用者数は、延べ5,951人と前年より891人増の利用者となり、新型コロナウイルス感染症拡大以前の利用者数に戻りつつあります。アンケート結果から当施設の設置が近隣住民の要望でもあり、利用者の多くが近隣住民でした。また、半数近くが60歳以上でした。</p> <p>利用者へのアンケートでは、利用目的は「健康維持」「体力維持」「筋力アップ」や「運動不足解消」のためとの回答が多くあり、利用後の体の変化では、「健康になった」「体力がついた」など体力増進が図られている旨の回答が多くありました。また、「自分の体と向きあう」、「意識して体を動かす」、「体が軽くなった」などの回答から、自らの身体を意識し、運動することによる成果を感じることができたものと考えられます。これらの回答から、本施設が運動習慣づくりのきっかけとなり、施設設置の目標である「町民自ら健康づくりへの積極的な取組ができる環境づくり」「健康で活力ある人づくり」「活気ある町づくり」の推進に大きく貢献していると考えられます。</p> <p>また、月2回開催している健康エクササイズは、毎回、20人前後の申込者があり、たいへん好評を得ています。</p> <p>利用者数はコロナ禍以前の数には至っていませんが、着実に増加した結果となりました。引き続き「特定防衛施設周辺整備調整交付金」で運営していることを広くPRし、利用者数の増や利用の促進を図り瑞穂町民に無くてはならない施設として位置づけられ、町民の健康づくりに貢献できるよう努力していきます。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <p>広報紙への掲載と町ホームページや長岡コミュニティセンターに、防衛省の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用し運営している事業であることを表示している。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価書

補助事業名	横田飛行場関連公共施設（社会福祉施設：高齢者福祉センター改修事業基金）整備事業									
補助事業者名	瑞穂町長									
実施場所	瑞穂町大字殿ヶ谷1106番地									
補助事業の成果の目標	<p>瑞穂町高齢者福祉センターは平成5年に建設し、令和4年度で建築から29年が経過しており、設備の老朽化が著しく、特に空調設備は故障が多発するなど不安定な状態であり、施設の利用に支障が生じている。このようなことから、施設および設備の老朽改修を実施することにより、利用者が安心して快適に利用できるよう改善を図る。</p> <p>また、移動のための安全確保が長年の懸念事項であった隣接する瑞穂第五小学童保育クラブを本施設内に移転し、移動に係る負担の削減を図ることで地域の福祉向上に資するとともに、多世代の住民による相互交流や健康づくりを促進することで、本施設の更なる活用を図る。</p>									
補助事業の内容	瑞穂町高齢者福祉センター改修工事、瑞穂町高齢者福祉センター改修工事監理委託									
補助事業の始期及び終期	基金の造成：令和4年度から令和6年度 基金の処分：令和5年度から令和6年度									
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金 処分類 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続 事業に 要した 額	
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計				
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	令和4年度	224,014,000	0	0	0	224,014,000	0	224,014,000	0	
令和5年度	240,934,000	0	0	0	240,934,000	12,500,000	452,448,000	46,349,000		
令和6年度	10,000,000	0	0	0	10,000,000	462,448,000	0	626,205,000		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕          令和4年6月から開始した本施設の改修事業は令和7年3月に完了し、多世代の方が安心して快適に利用できる施設として整備することができていると評価する。          また、施設利用者にアンケート調査を実施したところ、「①このセンターが、だれもが利用しやすい良い施設だと思いますか」という設問に対し「そう思う」「ややそう思う」という意見の合計は94%でした。「②このセンターのテーブルやいすなどの備品や設備は良いと思いますか」という設問に対し「満足」「やや満足」という意見の合計は94%でした。「③このセンターの改修事業全体の満足度はいかがですか」という設問に対し「満足」「やや満足」という意見の合計は98%でした。このことから本事業について高い評価を受けており、良好な施設改修ができた」と評価する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕          ・町のホームページ及び広報紙に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、本事業を実施した旨を掲載          ・施設外壁に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、本事業を実施した旨を掲示</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	本施設の適切な維持管理に努めていく。									
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									